

第1 回京都府プラスチック対策セミナー



イオンリテール店舗における取り組み事例

2025年3月3日
近畿カンパニー人事総務部
寺野 博

企業紹介

商 号	イオンリテール株式会社
屋 号	イオン・イオンスタイル
発足日	2008年8月21日発足
本社所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
代表者	代表取締役社長 古澤 康之
事業内容	総合小売業
店舗数	367店舗（2024年2月末現在）
従業員数	73,317人（2024年2月末現在）
事業形態	総合小売業（GMS）
トピック	京都府内では食品中心の小型店も展開中
イオンスタイル西陣小町・西ノ京小町・修学院小町・嵯峨野小町	

近畿2府4県では88店舗（2025年3月1日時点）を営業

店舗におけるプラスチック削減事例

1. プラ製レジ袋の削減取り組み
2. プラ製カトラリーの切替取り組み
3. 「Loop」の取り組み

店舗におけるプラスチック削減事例

1. プラ製レジ袋の削減取り組み
2. プラ製カトラリーの切替取り組み
3. 「Loop」の取り組み

取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減



買い物袋をご持参頂くための有料レジ袋を導入した1号店は京都イオン東山二条店（当時はジャスコ）でした。
現在店舗は2021年10月に53年間の営業を終了し一時休業しましたが、再オープンに向け準備中です。

取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

1



久御山

買い物袋のご持参を推進
するためのマイバッグの
販売提案

2



桂川

3



取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

マイバスケットとは？



買い物袋への詰め替え不要な利便性と合わせたマイバスケットの提案



取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

買い物カゴを原材料にした京都限定マイバスケット（数量限定）



◆サーキュラーエコノミー（循環型製品）



納品



製品出荷



廃箱買い物籠回収



粉碎



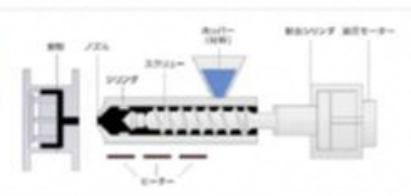
全国26箇所の工場及び、
委託加工先を活用し、全国
何処でもリサイクルが可能です。



色相、リサイクル配
合率は未定



工場にて成型



取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

食品レジでのレジ袋辞退率

店舗名	2024年 03月度	2024年 04月度	2024年 05月度	2024年 06月度	2024年 07月度	2024年 08月度	2024年 09月度	2024年 10月度	2024年 11月度	2024年 12月度	平均
亀岡	97.0	97.2	97.0	97.2	96.9	97.8	97.2	97.0	96.9	89.4	96.4
L&B川西	93.2	93.7	93.6	93.8	93.6	92.9	93.8	93.8	93.5	93.2	93.5
つくしヶ丘	90.7	90.8	90.8	90.6	95.8	90.0	91.0	90.5	90.6	98.0	91.9
三田ウッディタウン	90.9	91.2	90.7	91.0	90.7	90.7	91.2	90.9	87.7	90.5	90.5
猪名川	90.3	90.5	90.3	90.7	90.4	89.7	90.3	89.9	90.1	89.6	90.2
高の原	89.9	89.9	89.8	89.9	89.7	89.4	89.8	89.5	89.7	90.8	89.8
京都西	89.7	89.8	89.7	90.0	89.7	89.5	89.9	89.7	90.1	89.8	89.8
北千里	89.6	89.8	90.0	90.0	89.8	89.6	90.5	90.0	89.5	88.8	89.8
奈良	89.6	89.8	89.6	89.9	89.7	89.6	89.9	89.7	89.9	89.2	89.7
垂水	89.7	90.0	89.8	89.8	89.5	89.0	89.9	89.1	89.5	88.9	89.5
土山	88.7	88.4	88.1	88.4	88.1	87.6	88.9	88.2	100.0	87.9	89.4
明石	87.6	89.8	89.6	90.0	89.7	89.2	89.7	89.5	89.8	89.0	89.4
草津	89.2	89.2	89.3	89.7	89.5	89.3	89.4	89.0	89.5	88.5	89.3
姫路大津	89.3	89.2	88.8	89.6	89.1	88.8	89.7	89.3	89.3	88.6	89.2
神戸北	88.5	88.2	88.5	88.8	88.4	88.7	88.9	94.7	88.5	87.5	89.1
京都桂川	88.9	89.2	89.0	89.3	89.1	88.7	89.4	89.1	89.2	88.3	89.0
京都洛南	89.0	89.3	89.0	89.1	89.2	88.6	89.2	89.2	89.2	88.2	89.0

～省略～

店舗名	2024年 03月度	2024年 04月度	2024年 05月度	2024年 06月度	2024年 07月度	2024年 08月度	2024年 09月度	2024年 10月度	2024年 11月度	2024年 12月度	平均
喜連瓜破駅前	79.9	80.1	79.6	80.1	79.8	78.7	80.0	79.6	99.2	79.3	81.6
堺鉄砲町	80.7	80.2	80.2	81.3	81.0	80.4	80.9	80.6	81.5	79.8	80.7
布施駅前	81.0	80.6	81.0	81.1	80.7	79.4	80.9	80.1	81.5	79.8	80.6
大阪ドームシティ	80.4	80.1	80.5	79.8	81.4	79.0	75.8	83.7	80.8	81.1	80.3
海老江	79.3	79.8	79.4	79.4	79.0	78.9	79.6	79.3	79.9	78.7	79.3
高見	79.0	79.3	79.4	79.0	78.8	77.9	79.3	78.8	78.9	78.7	78.9
新金岡	79.8	79.9	70.4	79.9	79.7	79.5	79.9	79.2	79.5	79.1	78.7
東淀川	77.8	77.6	77.4	78.0	77.3	77.0	78.0	77.3	78.1	77.1	77.6
箕面	83.9	79.3	75.2	73.6	79.4	72.5	73.8	79.1	71.5	74.3	76.3

取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

レジ袋の販売収益金の活用

レジ袋の販売収益金は、各エリアの自治体・団体等に寄付し、緑化や植栽帯の管理・清掃など、地域の環境保全活動に役立てていただいています。2007年から続けている2023年度までの累計金額は約12億円になりました。

レジ袋の販売収益金を活用した環境保全活動の一例



プラスチックゴミ問題をテーマにした展示会
(北海道)



森と海の繋がりについて学ぶ環境体験学習
(岩手県)

取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

2023年9月4日
イオン株式会社
イオンリテール株式会社

総合スーパー全店の衣料、日用品・暮らしの品売場で提供するレジ袋を 10/5より、紙製の有料レジ袋に切り替えます

イオンは10月5日（木）より順次、全国の総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」全店舗（合計 523 店舗）の、衣料、日用品・暮らしの品売場で提供している有料プラスチック製レジ袋を、紙製レジ袋に切り替えます※¹。

使い捨てプラスチックの使用をさらに削減するため、これまで以上にお客さまにマイバッグ持参等のご協力と呼びかけ、レジ袋辞退率のさらなる向上を目指します。切り替え後に販売する紙製レジ袋は、環境に配慮したFSC認証紙や植物性インキを使用します。

本取り組みにより年間で約6,600万枚※²のレジ袋（使い捨てプラスチック約450t 相当）を削減できる見込みです。なお収益金※³が発生した場合は、これまでと同様に各地域の自治体等に寄付し、環境保全活動にお役立ていただきます。

イオンは1991年から「買物袋持参運動」に取り組んでおり、法令施行前の2020年4月に全グループ会社のすべての売場でレジ袋の無料配布を終了しました。2022年度に辞退いただいたレジ袋は約33億枚※²で、使い捨てプラスチック約2万2,600t に相当します。レジ袋の販売により発生した収益金※³は、全国各地の自治体や団体に寄付し、地域での様々な環境保全活動に役立てていただいております。

イオンはこれからも、お客さまとともに、資源の無駄使いや使い捨てを見直し、脱炭素社会の実現に向けて取組んでまいります。

取り組み事例 1. プラ製レジ袋の削減

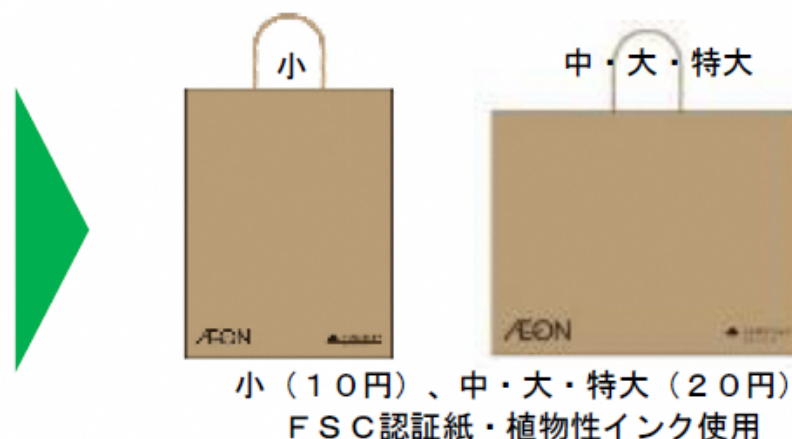
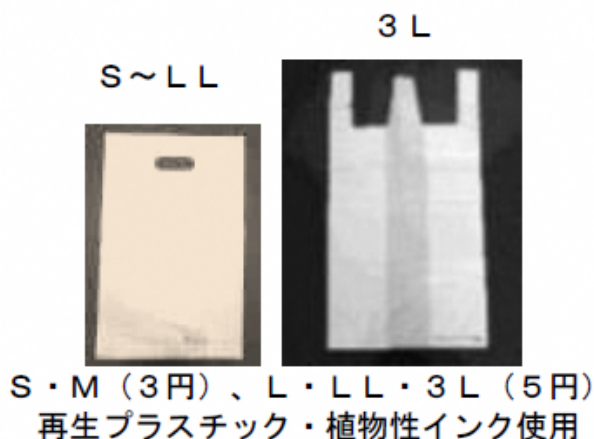
紙袋の販売が目的ではなく、
買い物袋ご持参の推進と
なります。

＜衣料・暮らしの品売場レジでの紙製有料レジ袋への切り替え＞

開始日：2023年10月5日（木）より順次

実施店舗：全国の総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」全店舗（合計 523店舗）

社名	対象店舗数
イオンリテール(株)	総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」全360店舗
イオン北海道(株)	総合スーパー「イオン」全39店舗
イオン東北(株)	総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」全51店舗
イオン九州(株)	総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」全67店舗
イオン琉球(株)	総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」全6店舗



店舗におけるプラスチック削減事例

1. プラ製レジ袋の削減取り組み
2. プラ製カトラリーの切替取り組み
3. 「Loop」の取り組み

取り組み事例②木製カトラリーへの切替

2022年2月17日
イオン株式会社

— グループを挙げて 使い捨てプラスチック削減に向けた取り組みを加速 — カトラリーを紙・木に切り替え、店頭回収ペットボトルがトップバリュ商品に！

イオンは、2020年に策定した「イオン プラスチック利用方針」に基づき、持続可能なプラスチック利用に取り組んでいます。事業活動で使用する使い捨てプラスチックを2030年までに半減する目標を掲げ、イオンのブランド「トップバリュ」で使用するペットボトルは、2030年までに100%再生または植物由来素材への転換を目指しています。

より確実に使い捨てプラスチックの使用量を削減するため、2022年度は、特に下記の取り組みに注力します。この2つの取り組みで年間 約500tの使い捨てプラスチックが削減でき、約1,486tのCO₂削減に貢献します。

記

1. 無料配布カトラリー類を紙・木製に切り替え

2022年3月から順次、イオンの主要なグループ店舗で無料配布しているストロー・カトラリー類を、プラスチック素材から紙や木などの環境配慮型素材へ切り替え、年間で約150tのプラスチックを削減します。



<切り替え計画の例>

社名	対象店舗数	主な「無料配布カトラリー類」の例※		
		紙製ストロー	木・紙製スプーン	木・紙製フォーク
イオンリテール㈱	全店（約 360 店舗）	切り替え済み	2022 年 3 月から順次	
イオン北海道㈱	全店（165 店舗）	2022 年 4 月 1 日から順次（一部の店舗で先行して切り替え）		
イオン九州㈱	全店（247 店舗）	2022 年 4 月 1 日から順次（一部の店舗で先行して切り替え）		
イオン琉球㈱	全店（57 店舗）	2022 年 4 月 1 日から順次		

※「無料配布カトラリー類」の取り扱い種類は店舗により異なります。

取り組み事例②木製カトラリーへの切替

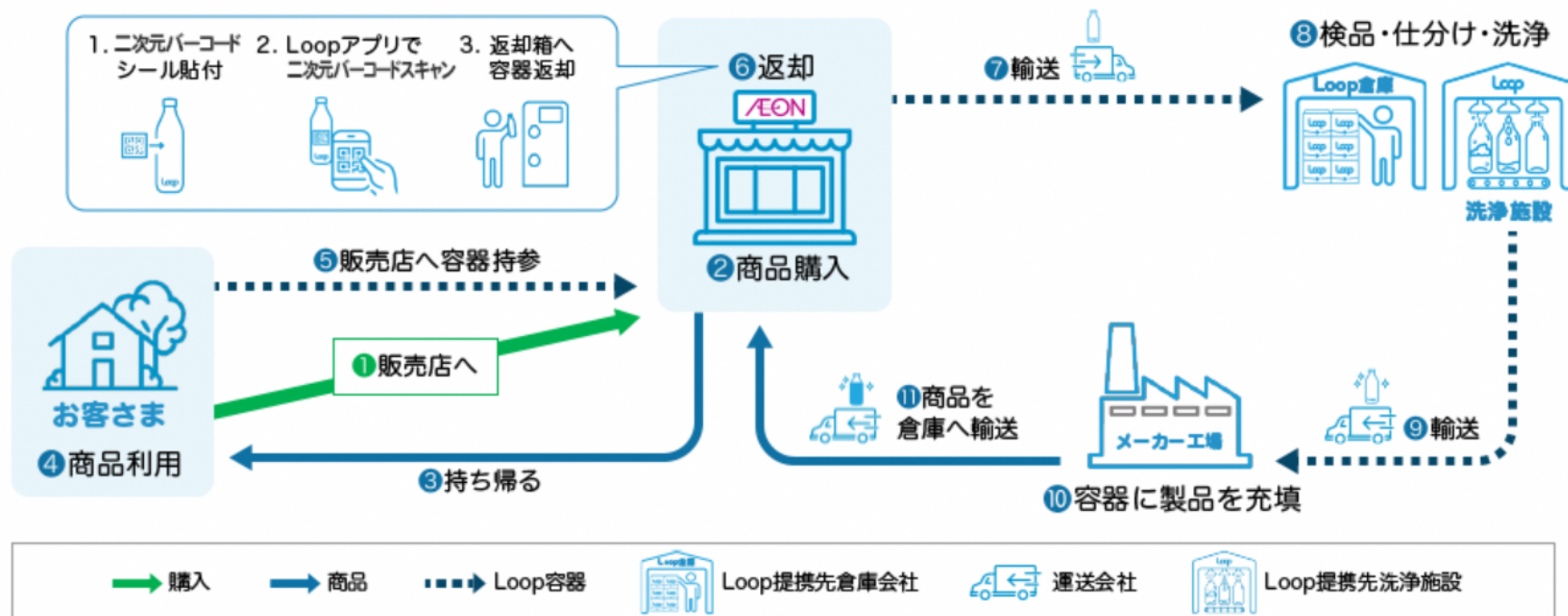
	＜変更前＞ プラスチック製	＜変更後＞ 木製・紙製
カトラリー		 本体および外装にF S C 認証素材を使用しています
割箸包装		 本体に植林材、外装にF S C 認証素材を使用しています

店舗におけるプラスチック削減事例

1. プラ製レジ袋の削減取り組み
2. プラ製カトラリーの切替取り組み
3. 「Loop」の取り組み

取り組み事例③商品容器の繰り返し使用「Loop」

Loop 小売店モデル 仕組み



AEON × Loop

お客さまの
サイクルモデル

イオンで
商品購入

お客さま
商品消費

イオンで
容器返却

容器代を
返金

取り組み事例③商品容器の繰り返し使用「Loop」



2020年秋から一部
店舗で店頭販売開始

現在18品目



ロツテ
Loopキシリトールガム ライ
ムミント
容器代:880円



アース製薬
モンダミン ペパーミント
容器代:220円



エステー
消臭力クリアビーズイオン
消臭プラス 無香料
容器代:220円

取り組み事例③商品容器の繰り返し使用「Loop」

容器循環ショッピングプラットフォーム「Loop」終了につきまして

運営元のLoop Japan合同会社より事業終了の連絡があり、以下のスケジュールに従って
当店での取り扱いも終了となりますので、何卒ご了承ください。



Loop商品の販売: 2025年5月24日(土)まで

Loop空き容器の回収: 2025年6月30日(月)まで

お手持ちのLoop商品の容器は、上記の回収期限までに
Loop専用アプリと店頭の回収ボックスを使用した容器返却をお願いします。
(詳しくは、最下部のLoopご説明ウェブページをご参照ください)

※容器回収後の、Loopアプリ上の返却容器代の払い出し処理は、2030年2月28日(木)までの対応となります。

お問い合わせ先 Loop Japan合同会社

Loopカスタマーサービス 0120-500-724 (土日祝除く10~17時)

infojp@loopmobileapp.com

eメール



Loopご説明ウェブページ(店舗一覧・使い方・Q&Aなど)

<https://www.aeonretail.jp/campaign/loop/>

取り組み事例③商品容器の繰り返し使用「Loop」



Loopって
なんだろう??

お客さまの
疑問を解決!

Loop Q&A

**Q. 「Loop」商品を購入すると
どんないいことがあるの?**

A.
「Loop」商品を使うことで
ゴミを減らし、デザイン性のある
容器を使いながら、
手軽に環境保全活動に
参加できます。



**Q. 容器の価格は、いくらですか?
また、容器の返金額は、いくらになりますか?**

A.
それぞれ商品ラベルのLoopマークの個所に、
〇〇円と記載されています。
店頭価格には、容器代金が含まれております。
なお、容器金額に消費税分を加算した金額が、
専用アプリケーション（登録が必要）に返金されます。

**Q. 容器返却から、どのくらいで
返金されますか?**

A.
容器返却から2週間程度で、
Loop Japan合同会社が
返却確認し、そこから
3日程度で、返金手続きが
行われます。

Q. 容器の返却の仕方はどうするの?

A.
店頭で設置されている返却ボックスにて
二次元バーコードのシールを発行し、返却する
使用済み容器に貼付、「Loop」アプリで容器に
貼付した二次元バーコードをスキャンした上で、
返却ボックスに容器を投入してください。

1. 二次元バーコード
シール貼付 2. Loopアプリで
二次元バーコードを
スキャン 3. 返却箱へ
容器返却



**Q. 容器の価格は、いくらですか?
また、容器の返金額は、いくらになりますか?**

A.
それぞれ商品ラベルのLoopマークの個所に、
〇〇円と記載されています。
店頭価格には、容器代金が含まれております。
なお、容器金額に消費税分を加算した金額が、
専用アプリケーション（登録が必要）に返金されます。

**Q. イオンカード、
WAONポイントカード等の
ポイント付与・割引や、
その他クーポン等の
割引は対象ですか?**

A.
ポイント付与・割引の対象と
なりません。

Q. 返金はどのようにされますか?

A.
Loop専用アプリに残高として反映され、
月1回手数料なしで **PayPal** への
残高移行ができます。その他、
Loopアプリから登録口座への
直接の銀行振り込みも選択
可能ですが、その場合は
8,800円未満の申請には
手数料249円が発生します。
詳しくは、専用アプリ
FAQをご確認ください。

専用アプリをダウンロード。
画面上の二次元バーコードを
読み取る、もしくはApp Store・
Google Play (Loop Deposits) を
検索してください。



0120-500-724 (土日祝除く10～17時)
infojp@loopmobileapp.com





※写真・イラストはすべてイメージです。

終了の背景

リユースに関する法整備が当初の期待通り進まず、事業継続が困難なためイギリス、アメリカ、カナダに続き、事業撤退する。(LoopJapan)

20年度より事業開始するが容器回収率は24%（ポカリスエットを加えると約5%）と低迷。メーカー様も容器が返却されない中、事業モデルの継続に懸念を示される課題もある。

→新商品、製品開発が進まないと販売・回収拡大にもつながらない。



その他の取り組み事例 商品開発段階での取り組み

これまで「ふとんカバー」は、商品を個包装するため透明袋に入れて陳列販売しておりました。

商品開発担当者の発案で、商品と同じ素材・柄で包装用の袋（巾着）を作成し、その袋に商品を入れて陳列販売するようにしました。



ご静聴頂きありがとうございます。

引き続き、従業員の理解とお客さまのご協力を頂きながら、取り組みを推進してまいります。